

日本内科学会学術集会

## 第51回内科学の展望

# 生活習慣病をめぐるInterdisciplinary Medicine： 病態解明と治療の進歩

第51回内科学の展望は「生活習慣病をめぐるInterdisciplinary Medicine：病態解明と治療の進歩」をテーマに2023年12月3日（日）、那覇文化芸術劇場なは一と（那覇市）にて開催させていただきます。母校の偉大なる大先輩である故 日野原重明先生のネーミングによる「生活習慣病」という言葉は国際標準医学用語の見地からは見直しの機運が高まっている一方、内科診療における概念としての重要性は今も決して色褪せるものではありません。人生100年時代の到来を間近に見据え、質の高い内科診療の実現のためには疾患領域相互のinterfaceを繋ぐ新しい知見や技術を個々の専門領域に取り込み、絶え間なく進化させていくことが求められます。このような背景を踏まえ、今回の内科学の展望では専門領域横断的な普遍的意義と関心度の高さを指標として、いずれの分野の先生方も楽しみながら新たな学びの機会を得ていただけるプログラムを編成いたしました。午前のセッションIでは「腸内環境と生活習慣病：予防と治療の展望」、「老化は制御可能か?」「データサイエンスの活用による生活習慣病の評価と予防戦略」、「膵β細胞不全へのアプローチ：糖尿病の根治治療を目指して」の4講演を賜ります。午後のセッションIIでは「生活習慣病と密に関わる皮膚疾患—乾癬の病態解明と治療の進歩—」、「Onco-Cardiology：がん治療に伴う心臓疾患の最新知見」、「Deep Medicine：人工知能・ロボットを活用する生活習慣病診療への期待」、「生活習慣病と感染症：診断、治療、予防のポイント」の4講演を賜ります。会場是那覇国際空港から車で10分、モノレールで15分程度の便利な場所にあり、余裕を持って1,000名以上を収容できる規模です。ハイブリッド形式を維持しつつも現地参加主体の開催を想定しており、我が国を代表する各領域の第一人者の先生方から密度の濃い名講演をライブで存分に楽しんでいただければ幸いです。末筆ながらこのたびの開催機会を与えて下さいました第121回日本内科学会講演会会長・北海道大学 渥美達也教授、日本内科学会理事長・東京大学 南学正臣教授をはじめ日本内科学会関係各位の先生方に厚く御礼申し上げます。

2023年8月

第51回内科学の展望 会長 益崎 裕章

会 長：益崎 裕章（琉球大学大学院医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座（第二内科））

会 場：那覇文化芸術劇場なは一と（那覇市）

日 時：2023年12月3日（日）

参加費：3,000円（税込）

ハイブリッド形式で開催いたします。詳細はホームページにてご確認ください。